

自然災害の 特徴と 身を守る方法 について 学ぼう！



鳥取県

④避難するために知っておきたいこと

土砂災害から大切な命を守るためには、危ない場所から少しでも安全な場所へ逃げるのが一番!

いざという時のために、3つのポイントを日頃から心がけておこう!

1 どこが危険なのか確認してみよう!

- どこが危険なのかな?
- 土砂災害の危険性の少ない所へ逃げるのがいいよね。



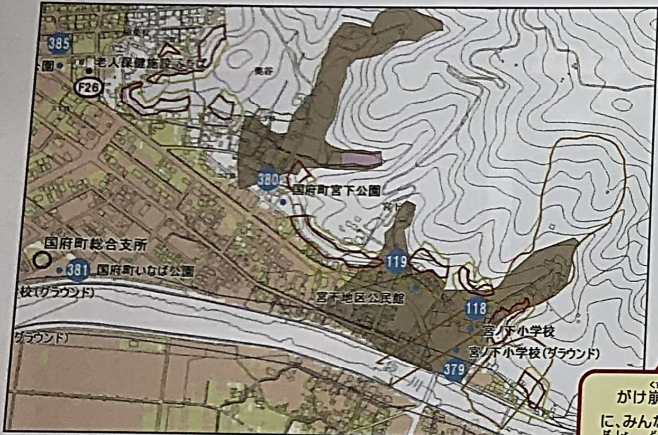
ハザードマップを活用しよう!

大雨や地震のときなどにどこが危ないのかや、避難場所を地図で示している「命を守るための宝の地図」みたいなものだよ。
ハザードマップは、インターネットでも確認できるよ。

ハザードマップ 鳥取 検索



凡例	
● 指定避難所	● 指定に基づく避難場所
● 指定緊急避難場所	● 福祉避難所
● アンダーパス (洪水するおそれのある道路)	
津波基準水位	河川氾濫水深 (想定最大規模)
5.0m~	5.0m~
3.0m~5.0m	3.0m~5.0m
0.5m~3.0m	0.5m~3.0m
~0.5m	~0.5m
	家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)
	家屋倒壊等氾濫想定区域 (沿岸復合)
土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
急傾斜地・特別警戒区域	急傾斜地・特別警戒区域(指定前)
急傾斜地・警戒区域	急傾斜地・警戒区域(指定前)
土石流・特別警戒区域	土石流・特別警戒区域(指定前)
土石流・警戒区域	土石流・警戒区域(指定前)
地すべり・警戒区域	地すべり・警戒区域(指定前)



▲鳥取市国府町の例を見てみよう。

土砂災害の危険性のある場所はどこかな?

凡例と見比べてみよう。

大雨の時には、がけ崩れや土石流、地すべりが起こる危険性があるし、川があふれて浸水する恐れもあるよ。

自分の家や学校のまわりにはどんな危険があるかな?

ハザードマップで確認してみよう。

がけ崩れや土石流などの土砂災害が起こった場合に、みんなの大事な命や身体に危害のある恐れがある場所を土砂災害警戒区域(イエロー区域)や土砂災害特別警戒区域(レッド区域)として指定しています。
特にレッド区域は、土砂災害で建物が壊され、命や身体に重大な危害のある恐れがある場所です。

土砂災害の危険がある区域は
早めの避難が肝心です!



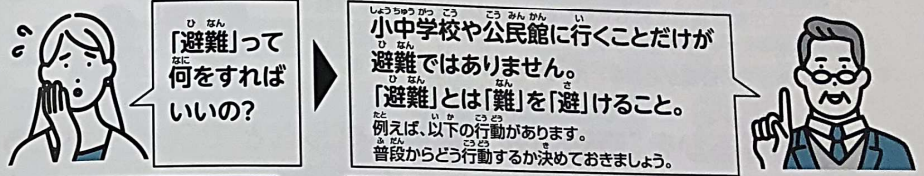
土砂災害警戒区域がAR(仮想現実)でもみえるでござる



使ってみよう! ARもみえるでござる
がけ崩れや土石流などの恐れがある場所が、目の前の風景と重なって見えるよ。
(イエローやレッドが重なっている場所に注意しよう)

2 『どこに』『どうやって』避難するか決めておこう

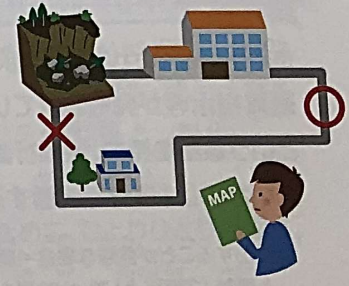
避難場所を決めるポイント



<p>行政が指定した避難場所への立退き避難</p> <p>小・中学校</p> <p>公民館</p>	<p>安全な親戚・知人宅への立退き避難</p> <p>親戚・知人宅</p>	<p>安全なホテル・旅館への立退き避難</p> <p>ホテル</p> <p>旅館</p>
---	---------------------------------------	--

避難経路を決めるポイント どうやって逃げるか、安全に避難できる避難経路を事前に確認しておこう。

最短ルートが必ずしも最適な避難ルートとは限りません。
普段は問題なく通れる道が、災害時には危険な箇所が変わってしまう場合があります。



- あふれそうな河川に近づくのは危険です。
- 河川が氾濫してなくても、水路から水があふれて、水路やフタのはずれたマンホールの穴に落下する危険もあります。



大雨災害
に備えて

「命を守る3つのポイント」

を普段から
心がけましょう

鳥取県



土砂災害警戒情報システム



真の1

どこが危ないか
事前に確認ニンじゃ!

ハザードマップで確認

最新の気象情報・
避難情報を確認



真の2

いつが危ないかを知るのじゃ!



真の3

安全な場所へ
早めににげるでござる!